

ふれっぽ



稚内市立増幌小中学校 学校だより

責任者：校長 畠山 博次

増幌小中学校 最終年度のスタートにあたって

校長 畠山 博次



校舎前のグラウンドの雪が解け、ぽかぽかと暖かい春の陽気が感じられるようになりました。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に対して温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

早いもので、新年度がスタートしてからまもなく1か月が過ぎようとしています。4月6日（木）の始業式では、「先生や友達の話をよく聴けること」「友達の気持ちを思いやり、優しくできること」という本校の子どもたちのよき伝統を引き継ぎ、更によりよいものにしてほしいという願いを伝えました。その後、児童生徒総会、交通安全教室などを実施し、小学生3名と中学生2名は新しい学年の学習や生活にも慣れ、落ち着いて毎日を過ごしています。

さて、本校は令和6年3月末の閉校に向けて、「自ら考え、主体的に行動できる子どもの育成」を重点目標に掲げています。その達成を目指し、各教科の授業、学校行事、学級活動、児童生徒会活動などの様々な活動に、保護者・地域の皆様の温かいご支援をいただきながら教職員全員が一丸となって取り組んでまいります。

また、今年度から稚内市内小・中学校で「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」がスタートし、更に本校では「閉校記念事業協賛会」が設立され、新たな仕組みと協力体制の下で教育活動の質の向上を図りたいと思います。

こうした子どもたちのよりよい学びと育ちの実現に向けた取組に対して、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



5月の行事予定



| 日 | 曜日 | 学校行事等 |
|----|----|----------------|
| 1 | 月 | PTA役員会 ウェルカム集会 |
| 8 | 月 | 保護者面談（～9日） |
| 9 | 火 | クリーン作戦 |
| 10 | 水 | 全校朝会 |
| 15 | 月 | 職員会議 |
| 21 | 日 | 授業参観・懇談会 |
| 22 | 月 | 振替休業（5/21分） |
| 23 | 月 | 開校記念日（お休み） |
| 24 | 水 | 運動会総練習 |
| 25 | 木 | ALT |
| 26 | 金 | 英語検定（1次） |
| 28 | 日 | 大運動会 |
| 29 | 月 | 振替休業（5/28分） |

新しく着任した教職員です!!

教諭 村上 裕子



4月に兜沼小中学校から参りました。私は以前も増幌小中学校でお世話になっていたことがあります。豊かな自然の中で、心優しく個性豊かな児童生徒の皆さんと、心豊かに過ごせた日々が本当に懐かしく思い出されます。この学校が閉校になることを知り、寂しい気持ちでおりましたが、その記念すべき年に着任出来たことを大変光栄に感じております。この1年、児童生徒の皆さんの更なる成長のために、充実した学校生活が過ごせますよう微力ながら精一杯努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

暴風雪の中

3つの総会開催!!



季節外れの暴風雪が稚内を襲った4月16日（日）。本校にとって、とても大切な総会が3つ行われました。この日は子どもたちの安全確保のため、授業を3コマに短縮し、給食を早めに取りらせて12時に総下校させました。午後から予定されていた授業参観も申し訳ありませんがカットさせていただきました。

- ①まず初めに「閉校記念事業協賛会設立総会」を行いました。閉校式典をいつ行うかが話し合いの焦点でした。様々な意見交流の結果、3月10日（日）に行われる卒業式の後には式典行事と惜別の会を行うことに決められました。また、運営については、同窓会の方々が中心となり、学校と協力し合いながら進めていくことになりました。今年度の各種行事（運動会、文化祭など）のタイトルには「閉校記念」と冠をつけることになりました。
- ②引き続き、「恵北・増幌地区子育て連絡協議会総会」を行いました。ここ数年、コロナ禍で中止となっていた「ふれあいカーニバル」や「餅つき・カルタ大会」について、今後の情勢を鑑みながら、できるだけ地域の方々と学校との交流ができるようにしていくことが確認されました。
- ③最後に「PTA総会」が行われました。最後のPTA活動になりますが、子どもたちの成長のために、一致団結して協力していくことが確認されました。

・悪天候のため、参加できなかった役員の皆様には大変申し訳ありませんでした。総会を延期することが難しいことから、16日（日）に総会を行うことにいたしました。大変、ご迷惑をお掛けしましたが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

交通安全教室

4月20日（木）、稚内警察署とヤマト運輸さんを講師に招き、交通安全教室を行いました。警察署の方からは自身が幼い頃に交通事故で3か月間入院してとても大変だったお話をされました。ヤマト運輸さんからは子どもたちを運転席に乗せて運転手からは見えない場所（死角）を理解させるなど、トラックの危険性を体感させてくれました。ご家庭でのご指導を改めてお願いします。

